

物理学

責任者・コーディネーター	物理学科 小田 泰行 講師		
担当講座・学科(分野)	物理学科		
担当教員	小田 泰行 講師		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

物理学は医歯薬系の学部において重要な科目である。それは物理学の基礎的知識や論理的思考法が、将来、専門分野において基礎実験や創造的研究を行ううえで必要となるからである。この物理学では、物理学を十分に学ばずに歯学部に入った学生にでも理解できるよう、大学における物理学を双向授業により基礎から学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

物理学では古典力学、流体力学、波動、熱力学、電磁気学、放射線物理学、そして電子工学にわたって、簡単な微分や積分などの手法を用いて学ぶ。単なる公式暗記と数値の代入ではなく、論理的な思考法により物理現象が比較的容易に理解できるようになる。また学習内容の中に生体系への応用例を数多く採用することにより、物理学に対するモチベーションが喚起されるようになる。
(ディプロマポリシー: 8)

・到達目標（SBO）

1. 歯科に関する力学を図解し、モーメント、合力、抗力などを計算できる。
2. 簡単な運動を運動(微分)方程式使って解くことができる。
3. 固体の弾性率や熱膨張について説明できる。
4. 生体内における表面張力の働きについて説明できる。
5. ベルヌーイの定理などに関する図を描き、流速を求めることができる。
6. 熱力学第一法則を説明できる。
7. モル濃度を計算できる。
8. オームの法則を用いて電圧、抵抗、電流などの値を計算できる。
9. 電気と磁気の関係を概説できる。
10. 交流回路とインピーダンスを説明できる。
11. 原子核の構成を知り、素粒子の一般論を概説できる。
12. 放射線の種類と性質、そして物質との相互作用を概説できる。
13. ダイオード、トランジスタ、オペアンプなどの動作原理を図示・説明できる。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
9/2	木	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>力学1</p> <p>1. 歯牙にかかるモーメントを図解し、式で表すことができる。</p> <p>2. ブリッジが両端の歯から受ける垂直抗力を図解し、式で表すことができる。</p> <p>3. 速度と加速度を微分方程式で表すことができる。</p> <p>[C-1-2)-①]</p> <p>事前学修： https://www.youtube.com/watch?v=BbP_Y8cGKdg の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>
9/7	火	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>力学2</p> <p>1. 等速円運動の速度と加速度を微分法により求めることができる。</p> <p>2. 運動方程式を解いて減速運動における速度と変位を求めることができる。</p> <p>[C-1-2)-①]</p> <p>事前学修： https://www.youtube.com/watch?v=9St5quUQZdc の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>
9/9	木	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>個体の変形</p> <p>1. ヤング率とポアソン比を図解し、式で表すことができる。</p> <p>2. 線膨張と体膨張について図解し、式で表すことができる。</p> <p>事前学修： https://www.youtube.com/watch?v=hf1iYbj4KY の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>

9/14	火	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>静止している流体 1. 血圧の部位による変化を図解し、式で表すことができる。 2. 肺胞内・外の圧力差を表面張力の式で表すことができる。 3. 血管にかかる圧力を表面張力の式として表すことができる。</p> <p>事前学修： https://www.youtube.com/watch?v=2Me7XQgC_3Q の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>
9/16	木	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>運動している流体 1. 連続の式を説明できる。 2. ベルヌーイの定理を式で表すことができる。 3. ハーゲン・ポアズイユの法則を式で表すことができる。</p> <p>事前学修： https://www.youtube.com/watch?v=80MZY39aipc の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>
9/21	火	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>熱力学1 1. 热力学第一法則を式で表すことができる。 2. 定積モル比熱と定圧モル比熱を式で表すことができる。 3. 热機関の効率を式で表すことができる。</p> <p>事前学修： https://www.youtube.com/watch?v=8Y0LattzF4A の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>
9/28	火	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>熱力学2 1. エントロピーを式で表すことができる。 2. エネルギー等配則を式で表すことができる。 3. 物質量を計算できる。</p> <p>事前学修： https://www.youtube.com/watch?v=djiKFu1ihgU の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>

9/30	木	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>直流</p> <p>1. オームの法則に基づき、電圧、電流、抵抗を計算できる。 2. キルヒホッフの法則を式で表すことができる。 3. ホイートストンブリッジの原理を理解することができる。 4. 電気泳動や人工ペースメーカーの原理を理解することができる。</p> <p>事前学修 : https://www.youtube.com/watch?v=5Asu4prDwgE の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>
10/19	火	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>交流</p> <p>1. 電圧と電流の実効値を式で表すことができる。 2. インピーダンスを式で表すことができる。 3. 直列共振の原理を理解し、式で表すことができる。</p> <p>事前学修 : https://www.youtube.com/watch?v=9St5quUQZdc の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>
10/21	木	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>磁場と電流</p> <p>1. ローレンツ力を式で表すことができる。 2. サイクロトロン運動を式で表すことができる。 3. MRI の原理を説明することができる</p> <p>事前学修 : https://www.youtube.com/watch?v=eR0hnPkaAAk の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>
10/22	金	3	物理学科	小田 泰行 講師	<p>電磁波、超音波、衝撃波</p> <p>1. 電磁波の種類、波長、振動数、光子エネルギーについて説明できる。 2. 超音波診断装置の原理を図解できる。 3. 衝撃波結石破碎の原理を図解できる。</p> <p>事前学修 : https://www.youtube.com/watch?v=dWuXvpewAz4 の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>

10/26	火	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>X線</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. X線発生原理を図解できる。 2. X線強度の減弱を式で表すことができる。 3. X線CTの原理を理解できる。 <p>事前学修 :</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=YJxR5VuSNfs の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>
10/28	木	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>放射線</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. α、β、γ線を簡単に説明できる。 2. 崩壊図を説明できる。 3. 半減期を式で表すことができる。 4. 放射線量の単位を説明できる。 <p>事前学修 :</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=d4AJMqqwc04 の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>
10/29	金	4	物理学科	小田 泰行 講師	<p>電子工学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ダイオードとトランジスタの原理を説明できる。 2. オペアンプを使った增幅回路を図示できる。 <p>事前学修 :</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=qtZ6PACzvQk の URL にある動画を見て、要点を手書きで簡単にまとめ、講義前に提出する。</p>

・教科書・参考書等

教科書 参：参考書

推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	医歯系の物理学 第2版	赤野松太郎、他	東京教学社	2015
参	物理学	小出昭一郎、他	東京教学社	1992
参	力学と電磁気学	原 康夫	東京教学社	1994

・成績評価方法

期末試験を含めて計2回の試験（各50点）を行い、その合計を評点とする。

・特記事項・その他

- ・講義内容を教科書から検索し、URLを参照して、図と式を中心とした事前学修を30分以上行う。
- ・講義中に配布する問題用紙に解答をていねいに書き、提出する。
- ・中間テストの採点後に正答率の低い問題について重点的に解説する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン (Dell Inspiron 580s)	1	講義・実習資料作成、他